



第1回定例会号(2月議会)



新緑の滝道 (撮影: 桜在住のS.IIさん)

今定例会の焦点

未来にはばたくまちづくりに向けて
～平成31年度当初予算を可決～



新規事業を中心に慎重かつ活発な議論

新年度予算を審議する第1回定例会が開催されました。

倉田市長は、施政及び予算編成方針演説において、新年度をこれまでの10年の振り返りと次へと生かす節目の年と位置づけ、成果に磨きをかけつつ、細やかに暮らしに寄り添う市政運営に努めるとの強い決意を示されました。

議会に提出された新年度予算案は、一般会計で700億円を超え、対前年度比25.2%増という過去最大規模のものが示されました。新年度は、北大阪急行線延伸とそれに伴う2つの新駅周辺のまちづくりや環境クリーンセンターの基幹改良工事などの大規模プロジェクトが本格化するほか、屋内温水プールを備えた総合水泳・水遊場整備や新しい消防署の建設などの新たな都市基盤整備にも着手されます。また、産後ケア事業の開始や高齢者の外出機会を増やすスポーツ版シニア塾への取り組みなど、まさに子どもから高齢者まで暮

らしに寄り添ったきめの細かい内容のものがこの予算には盛り込まれています。

これら提案された予算案については、本会議や委員会を通じて、それぞれの事業内容やその効果、財政の健全性など幅広い観点から慎重かつ活発な議論が行われ、全て提案どおり可決されました。

一方、議会では、昨年制定した議会基本条例に沿って、引き続き市民のみなさんと地域別・分野別意見交換会を実施するなど開かれた議会をめざした取り組みを進めていきます。また、昨年の災害を教訓とした議会の災害時の行動マニュアルを検討するなど、新たな改革にも取り組んでいきますので、今後の議会活動にもご注目ください。

このほか、今定例会では、条例議案や補正予算など計39件が審議され、採決に付された議案は、いずれも提案どおりに議決されました。

第1回定例会(2/19～3/26)の議案

- 当初予算…11件
- 条例案件…11件
- 補正予算…10件
- 報告案件…1件
- 人事案件…2件
- その他…4件

議案の詳細は、市議会ホームページ「提出議案・議決結果の一覧」をご覧ください

今定例会で行われた議論の主な内容は、下記のページで紹介しています。

- 4p **代表質問**…新年度市政に関する質問・提言
- 8p **常任委員会**…議案審査で行われた質疑
- 10p **討論**…議案に対する賛成・反対の表明
- 12p **一般質問**…市政全般に関する質問・提言



議会改革の先進地を視察

～災害時の議会・議員の対応について～

平成31年2月7日に議会運営委員会と議会改革検討会議(専門部会)が合同で、議会改革の先進地である大分県大分市を視察しました。

今回の視察テーマは「防災会議と議会BCP(業務継続計画)について」です。大分市議会では、「大分市議会防災会議」を設置するとともに、「議会BCP」を策定し、災害発生時の議会や議員の対応を明文化されています。

昨年の大規模災害を受け、現在、災害時の議会運営や、議会としての活動を検討している箕面市議会にとって大変参考になる視察でした。

防災会議

大分市議会では、災害発生時に素早い対応が取れるよう、平時から防災会議を設置し、課題を認識するとともに、市全体の防災についても協議されています。また、市内を7つの地区に分け、それぞれ議員が張り付き、地区隊長を任命し、平時にも防災訓練などを実施しています。

議会BCP(業務継続計画)

大分市議会では、大規模災害時に議会機能を維持し、予算など重要議案の審議が遅れて市政運営に支障が生じないようにするため、災害時の本会議招集、議案審議・採決に関する手順を明文化しています。

▶ 議会の災害時対応マニュアルを検討中

箕面市議会では、現在、議会改革検討会議(専門部会)において大規模災害などの緊急事態が発生した場合や、発生する恐れがある場合に、議会・議員がどのように行動すべきか、共通の認識を持ち、議会としての体制を整備するために、箕面市議会災害時対応マニュアルの策定に取り組んでいます。

主な内容としては、大規模災害時における議会の運営方法(開会・継続・閉会などの判断基準とその手法)や、議会が市の災害対策本部と連携をはかり効果的な災害支援を行うために、①どのような活動を議員が行うべきか②議員が収集した情報を議会としてどう集約し、発信するか③議会と市の災害対策本部とがどのように連携するか、などについて検討を行っています。



▲議会改革検討会議(専門部会)の様子

～平成31年度の市政の運営方針と予算を問う～

市長が、新年度における市政の運営方針と予算に関する考え方を述べた「施政及び予算編成方針」などに対し、各政策会派の代表者が質問を行いました。定例会の流れと、代表質問の主な内容をお知らせします。



全ての代表質問を動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



定例会の主な流れ

新年度の予算が提出され審議する2、3月の定例会を第1回として、議会の1年が始まります。

年に4回定例会を開催し、議案の審議と一般質問により、市政をチェックしていきます。

第1回定例会では、市長の「施政及び予算編成方針」に対する代表質問も行います。

みのお市議会だより「ささゆり」では、できるだけ定例会の流れに沿って、その様子をお知らせしています。

開会

代表質問 このページ～P7



議案の審議

1 予算や条例などの議案について説明を受けます



2 委員会 で具体的な内容について審査します



3 委員会の報告を受けて、各議員が賛成・反対の意見を述べます(討論)



4 議員の多数決により、議案の可決・否決を決定します(採決)



一般質問 P12～P15



もっと詳しく! 定例会でのやりとり

- 当日なら
- 議場や委員会室で傍聴ができます
 - 議場に来られなくても、パソコンやスマートフォンでライブ中継をご覧いただけます
- 終わった後も
- パソコンやスマートフォンで配信している録画映像をご覧いただけます
 - 市役所別館1階行政資料コーナーや図書館、市議会ホームページで、会議録をご覧いただけます

閉会

箕面政友会

二石 博昭(質問者)
中嶋 三四郎、川上 加津子、内海 辰郷

災害時の情報提供の在り方について

問 箕面市議会では、災害発生時の議会と議員の在り方について議論しており、災害対応マニュアルの策定を検討している。市議会が災害対策本部と両輪で動くためには、災害時の被災状況や応急復旧状況、市民へのメッセージを、時系列で発信することが必須である。タイムリーな情報提供がなされれば、市民から市役所への問い合わせも減少し、市民の冷静な行動にもつながるのである。災害時の情報提供の在り方についての見解と今後の対応を問う。

答 昨年の立て続けの災害対応の中、災害状況や復旧情報を市民にお知らせすることの重要性を改めて強く感じている。従事職員からも意見が出ており、見直すべき点の洗い出しを進めている。また、従来の市民安全メールに加え、TwitterやLINEへと伝達ツールを拡張し、市ホームページのトップページに特大バナーを設置するなど工夫を重ねているが、まだまだ工夫の余地はあり、各方面からの意見も参考に、より分かりやすい情報伝達に努めていく。



ほかの質問事項

- 児童虐待根絶の取り組み
- 保育所待機児童解消の取り組み
- 在宅保育に対する子育て支援の取り組み
- 貧困の連鎖根絶の取り組み
- 学力向上と体力向上といじめの防止の取り組み
- 熱中症予防の取り組み
- 健康長寿の取り組み
- 福祉相談・交流テラスの開設
- 成年後見制度の利用促進
- 川合・山之口のまちづくりとモノレール新駅の設置
- 屋内温水プールと屋外レジャープールの新設

など

大阪維新の会箕面

堀江 優(質問者)
尾崎 夏樹、今木晋一、尾上 克雅、神代 繁近、武智 秀生

北大阪急行線延伸に伴う新駅周辺のまちづくりについて

問 平成33年度のまちびらきに合わせ船場地域では関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター(仮称)の整備の検討が進められているが、ライフサイエンス分野の一つであるヘルスケア産業は、府の独自制度である成長産業特別集積区域における優遇税制を活用できる可能性があると考え。船場地域をヘルスケア産業の拠点と位置づけ、成長特区の指定を受ける方向でまちづくりに取り組むのか。これまでの検討状況と今後めざすまちづくりの方向性について問う。

答 平成28年に箕面市、大阪大学、大阪船場繊維卸商団地協同組合で、スポーツ・健康まちづくりの推進を目的とする基本協定書を締結し、連携・協力していくことを確認した。現在、ヘルスケア総合センターとして必要な機能の整理を終え、事業採算性などの詳細な検討や、船場地区を成長特区に指定するための条件整備を進めており、条件が整い次第、追加指定の手続きを進める。船場のまちが先進的なビジネスのスタートアップの地となるよう環境整備を進めていく。



ほかの質問事項

- 室内温水プール整備における財政見直し
- 民泊の規制内容
- 高性能防災スピーカーの市内全域への整備
- 新市立病院へのアクセス及び利便性の向上
- 昨年の熱中症対策における検証と課題
- 児童相談支援センターの職員体制及び新組織としての効果・検証
- 児童虐待防止の取り組み
- 子ども成長見守りシステム及び学校との連携

など

代表質問

日本共産党

名手 宏樹(質問者)
村川 真実、神田 隆生

「住民福祉の増進」が使命の自治体は、暮らしを守る役割を發揮すべき

問 10月から実施されようとしている消費税率10%への増税は、家計を直撃し、暮らしも経済も壊す大増税で貧困と格差を更に拡大する。箕面市と財政への影響や市民の負担増の影響などの点からの認識を問う。

答 消費増税分は、国において全額社会保障に充てられることとなっており、社会保障関係費の財源として新年度当初予算や中長期財政試算に見込まれている。なお、企業会計の収支は消費税抜きで計算するため、収支への影響はない。

問 国民健康保険料は、高すぎる保険料が払えず、必要な医療にかかれない事態が広がっている。「都道府県単位化」した大阪府のもと箕面市では、各所得階層の保険料の変化はどうなるのか。保険料抑制への対策を求めるとの見解は。

答 府の算定では、保険料は平成30年度比で平均約3.3%上昇する。保険料抑制について、府の運営方針でもそのための繰り入れは解消すべきとされ、市の国民健康保険運営協議会での議論と併せ、抑制のための税支出をする予定はない。



ほかの質問事項

- 「都構想」「カジノ誘致」の認識
- 介護保険料、利用料の負担軽減
- 市民のための市立病院づくり
- 幼児教育・保育費の無償化
- チャレンジテストの見直し廃止
- 35人・少人数学級の推進
- 就学援助の充実、給食の無償化
- 温水プール計画の公表と具体化
- 熱中症対策に対する市民の理解
- 北急周辺のバリアフリー化推進
- バス路線再編とコミバスの改善
- 市街化調整区域と農地の保全
- 商業観光振興とリフォーム助成
- 防災対策の強化
- 再生可能エネルギーの普及

公明党

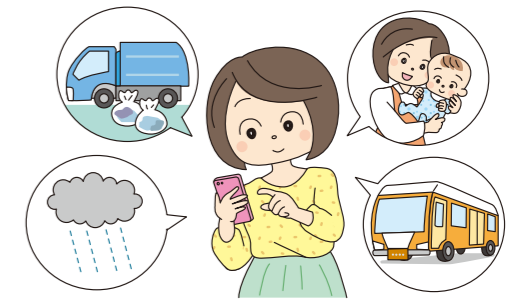
楠 政則(質問者)
田中 真由美、岡沢 聡

人と地域を生きし、誰もが安心して暮らせる社会を

問 市では「箕面くらしナビ」というスマートフォンアプリの試行運用を行っている。特徴として市民安全メールとの連動や、ごみ収集日・ごみ収集車接近通知機能などがあるが、iOS*にしか対応していない。本格運用に向け前進を！また、もみじだよりの電子化配信など、さまざまな趣向で市民ニーズに応じた行政サービスを提供できるよう、広報視聴機能の強化をはかっていただきたいと思いますという見解は。

答 本アプリではほかにも、イベント情報、子育て情報、オレンジゆずるバス運行情報を配信するなど、生活に必要な市の情報をいつでもどこでも取得できるツールとなっている。また、Android*でもリリース予定で、新年度早期に本格運用を考えている。もみじだよりについても、本アプリの機能を使い、発行時に通知を配信して、市のホームページでの閲覧を誘導し、広報機能の強化をはかる。

*iOS、Android…スマートフォンのアプリなどを動作させるためのオペレーティングシステム(OS)の一種。



ほかの質問事項

- 高性能型防災スピーカー導入における運用体制
- 学校などの避難所への公衆無線LANの環境整備
- 訪問・在宅看護の充実をはかるための、潜在看護師への復職支援
- 認知症サポーターの活躍の機会を広げる取り組み
- 総合水泳・水遊場の整備における、夏季以外の利活用方法を盛り込んだ必要機能の検討
- プレミアム商品券の周知や販売手法の改善
- ひとり親家庭等支援貸付制度の丁寧な運用

など

自民党市民クラブ

中井 博幸(質問者)
藤田 貴支、牧野 芳治、林 恒男、上田 春雄

平成31年度予算編成と中長期の財政見通しについて

問 平成31年度の経常収支比率は、職員の大量退職がないので、昨年度に比べ1ポイント回復し、97.7%まで改善したが、それでも3年前に比べ3ポイント以上悪化している。平成31年度に扶助費が事務費ベースで13億円伸びることが、どれほどの影響を及ぼすのか、扶助費の伸びに対する対策を問う。

答 平成31年度の扶助費の増加は、一般財源ベースでは約1.7億円で、経常収支比率に換算して約0.6ポイントと、影響は限定的である。ただ、年々増加する社会保障関係費に対応するためには、経費の不断の見直しが必要であり、経常経費削減を進め、健全な水準の経常収支比率の堅持に努める。

問 鉄道延伸や新駅周辺整備事業、クリーンセンター基幹改良工事費に加え、病院建設や温水プールの整備など新たな事業計画もあるが、中長期の財政見通しに差が生じないか。

答 中長期財政シミュレーションには、進行中のプロジェクトに加え、温水プールの建設・運営及び、社会保障関係費用の増加も反映しており、大きな差異は生じないと考える。



ほかの質問事項

- 市税減少の原因と今後の見込み
 - 病院経営の累積赤字の抑制と資金ショートを防ぐ手立て
 - 市民の健診機会を活用した風しんの抗体検査の実施
 - 総合水泳・水遊場の整備における需要予測と市民への説明及びその理解
 - 熱中症対策における運動中止の目安とする数値の市内測定と年齢に応じた対応
 - 大阪モノレール彩都線新駅設置と周辺まちづくりの検討
 - 市の業務におけるAIを駆使した作業の省力化と働き方改革
- など

特別委員会

～市の重要テーマについて議論しました～

2つの特別委員会を開催しました。主な内容をお知らせします。

全ての内容を動画で視聴できます

箕面市議会 検索 動画の内容は公式記録ではありません。

交通対策特別委員会

(1月25日開催)

● 北大阪急行線延伸について

- 延伸後の乗降客の需要予測と経済波及効果
- 工事に伴う人身事故や重大事故などの状況
- 用地買収における区分地上権の設定内容
- 箕面萱野駅前地区の整備事業者の公募状況
- 新駅のユニバーサルデザインの検討 など

● 地域公共交通バスについて

- 北急延伸後のバス路線網の再編 など

● 新名神高速道路について

- トンネル湧水と中谷川の水枯れ



北大阪急行線延伸工事を視察

● 彩都・箕面森町地域整備特別委員会

(2月5日開催)

● 彩都(国際文化公園都市)について

- 新設される遊び場の整備内容及び維持管理
- UR都市機構のニュータウン事業からの撤退に伴う懸案事項とその後の対応
- バス路線再編の進捗状況と今後のスケジュール
- 国文都市4号線の整備内容と市民への説明
- 地域安全センターの役割と交番設置の検討

● 箕面森町(水と緑の健康都市)について

- 箕面有料道路の一元管理に向けた協議状況
- 大型スーパーの出店と周辺環境への配慮 など



箕面森町第3区域を視察



～このような質疑を行いました～

本会議から各常任委員会に付託された議案などについて、慎重に審査しました。市に対する主な質疑項目をお知らせします。

文教常任委員会 【審査分野】教育、子育て、生涯学習、人権、文化など 【委員】委員長／上田春雄 副委員長／今木晋一 中西智子、堀江優、二石博昭

(審査議案／予算2件)

補正予算 平成30年度一般会計

- 子ども家庭総合支援員を今年度中に全て採用できなかった理由及び今後の支援体制の状況

当初予算 平成31年度一般会計

- ホストタウン推進事業における受け入れ先及び市民との交流や近隣の高校との連携状況※
- 男女協働参画の進捗状況と市民への浸透
- 子ども家庭総合支援における支援員の確保策
 - ・ 児童虐待件数の推移と組織的な対応の必要性
 - ・ 支援センターへの虐待通告内容と通告後の対応
- 市職員を対象とした事業所内保育所の整備の目的
- ひとり親家庭等支援貸付の実施方法とその検証
- 産後ケア事業と虐待防止との連携
- 学校事務センターの業務に従事する職員体制
- 新放課後モデル事業の効果検証と今後の展開
- 体力向上研究モデル校とガンバ大阪との連携

- 熱中症に陥らないための具体的な対策
- 就学援助対象を生活保護基準の1.2倍にした理由
- 大人のスポーツ・トライアル推進事業の具体的な取り組みのイメージや体育連盟などとの連携方法
- 総合水泳・水遊場を整備する目的と収支見込み
- 学校施設開放における予約システム化による課題
- 通学区域審議会の議論の内容と決定事項
- 学校支援地域ネットワーク事業における地域連携など



※平成7年にニュージーランドのハット市と国際協力都市提携を締結。教育・文化・経済など多分野で交流を深めている。

建設水道常任委員会 【審査分野】都市計画、道路、公園、消防、水道など 【委員】委員長／岡沢聡 副委員長／武智秀生 名手宏樹、川上加津子、牧野芳治

(審査議案／条例4件、予算7件、その他1件)

当初予算 平成31年度一般会計

- 高圧水銀灯の灯数とLED灯に取り替える理由
- 所有者不明猫不妊等手術の効果を実証する必要性
- 遊休農地解消の取り組みと新規就農希望者の拡大
- ため池耐震診断の結果と対策工事の今後の計画
- ゆず生産農家における後継者の育成
- 街路樹の根上がりや歩道の波打ち解消の計画
- 道路の危険箇所発見から補修までの流れ及び効率的に補修するためのパトロールの強化
- 台風被害による公園内の樹木の剪定と今後の対応※
- 中央公園整備事業の進捗状況と今後の見通し
- 市営住宅の改修工事の予定及び市と指定管理者との修繕の責任範囲並びに入居者の負担区分
- 救急件数の増加に伴う東部地区消防拠点の整備
- 消防の再任用職員による全戸訪問の効果
- G20サミット開催に伴う消防職員の応援体制
- 運転免許制度の改正に伴う消防団への影響と対策

当初予算 平成31年度水道事業会計

- 箕面浄水場の中央監視制御システムの仕組み
- 大阪府北部地震による水道施設などへの被害状況

当初予算 平成31年度競艇事業会計

- カジノが誘致された場合の競艇事業への影響
- S Gグランプリをナイター開催とした経緯など



※近年の台風被害を踏まえ、倒木による大きな被害が想定される危険な樹木について、最低限の伐採と剪定を実施している。

民生常任委員会 【審査分野】福祉、住民登録、ごみ処理、病院など 【委員】委員長／中井博幸 副委員長／村川真実 増田京子、田中真由美、内海辰郷、尾上克雅

(審査議案／条例1件、予算10件、その他3件)

補正予算 平成30年度特別会計介護保険事業費

- 保険者機能強化交付金の算定評価と活用策

当初予算 平成31年度一般会計

- QRコードつき街区表示板への更新
- 身上監護を見据えた成年後見人制度のあり方
- オレンジゆずるタクシーの現況とポイント制導入
- ごみの減量、リサイクル推進における現状と課題
- 環境クリーンセンターの基幹改良工事及び長期包括運営委託の状況

当初予算 平成31年度特別会計介護保険事業費

- 「ささえあいステーション」への名称変更の経緯※

当初予算 平成31年度病院事業会計

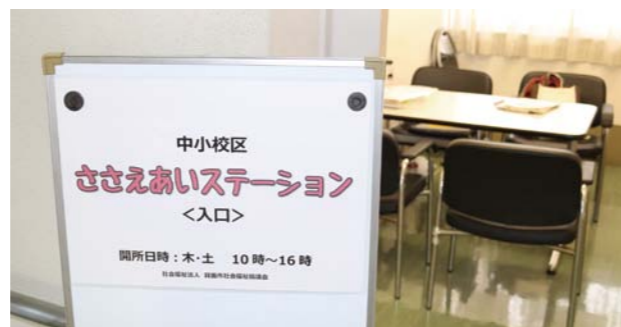
- 医師の勤務状況と働き方改革
- 第三次改革プランと建て替え計画の内容

その他 指定管理者指定の件 (箕面市立光明の郷ケアセンター)

- 指定管理者決定に至る経過

その他 指定管理者の指定の一部変更の件 (箕面市立障害者自立支援センター)

- 公募結果の精査と指定管理料の積算方法
- 指定期間延長理由とその期間、今後の見通しなど



※4月から市内6箇所にステーションを設置。地域の身近な相談窓口として、住民が主役の地域の支え合い体制の構築に向け取り組んでいる。

総務常任委員会 【審査分野】防災、税、情報システム、観光、北急延伸など 【委員】委員長／神田隆生 副委員長／藤田貴支 中嶋三四郎、楠政則、尾崎夏樹、林恒男、神代繁近

(審査議案／条例6件、予算6件)

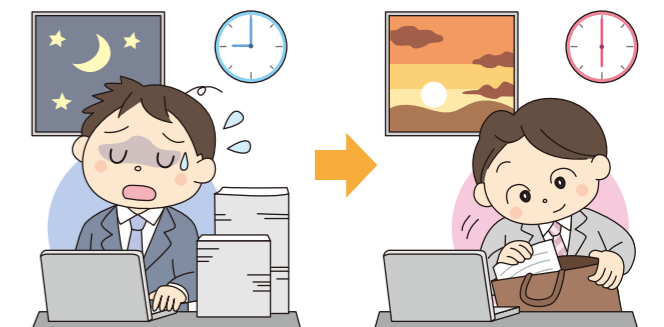
条例改正 箕面市災害弔慰金の支給等に関する条例

- 災害援護資金の貸付利率の決定方法

当初予算 平成31年度一般会計

- 歴史資料調査員による行政資料のデジタルデータ化・目録化の進捗状況
 - ・ 資料の種類と内容及び活用方法
- 市職員の働き方改革※
 - ・ 長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現
 - ・ 出退勤管理方法や年次有給休暇の取得状況
- 指定管理者制度の課題
 - ・ 指定管理者の評価と検証
 - ・ 指定管理施設の修繕料の考え方
 - ・ 指定管理料における人件費の捉え方
- 市職員及び地区防災委員会役員の防災士資格取得に向けた講座の実施とその目的
- 高性能型防災スピーカー設置に至った経緯

- 行政情報ネットワークシステムに係る更新内容及びサーバーのクラウド化に対するメリット
- 自転車安全対策の取り組み
 - ・ 自転車走行レーンの法的強制力の有無
 - ・ 子どもから高齢者までの交通安全対策の実施状況
- 箕面船場駅前地区のデザインのコンセプト
- 大阪モノレールの(仮称)川合駅設置の必要性和周辺まちづくりの基本調査の内容など



※ノー残業デーや21時以降の時間外勤務の原則禁止など、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現に向けた働き方改革を推進している。

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。



▶ 全ての一般質問を動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



自転車関連事故ゼロのまちづくりに向けて



大阪維新の会 箕面 武智 秀生

問 平成22年、箕面市内で当時、中学2年生の生徒が自転車走行中、信号機のない交差点で自動車と衝突し死亡する事故が発生した。ご家族からは「どうか命を自分で守って下さい」とのメッセージが届いている。心からお悔やみを申し上げるとともに、ご家族の切なる思いに応えるためにも再発防止の徹底が不可欠である。大阪府警と連携したこれまでの取り組みを問う。

答 箕面警察が自転車運転者への講習会で、この事故の事例を取り上げ道路交通法の遵守を徹底すると

ともに、市として自転車安全利用条例に自転車利用者の責務を定めた。また、ご遺族の寄附を活用した安全運転に関するDVD教材の作製や、最高速度を30km/hに制限するゾーン30の区域拡大など、箕面警察と連携し再発防止に向けた取り組みを進めている。



小・中学校のスマホ対応と部活動の在り方



自民党市民クラブ 藤田 貴支

問 ①府教育委員会より災害対策や防犯目的として小・中学校への携帯電話やスマートフォンの持ち込みについてのガイドラインの素案が示されたが、市の対応を問う。②教職員の働き方改革の観点から、スポーツ庁・文化庁が部活動について休養日の日数や練習時間の目安を示し、文部科学省も民間団体を含めた地域のクラブとの連携など部活動の在り方について積極的に検討を進めるよう通知を出しているが、今後の市の方針について見解を問う。

答 ①市では、災害や防犯対策としてさまざまな取り組みを行っており、携帯電話などの持ち込みはこれまでのように一定のルールに従って許可するなど、学校や保護者からの意見を参考に、慎重に対応していく。②部活動による教育的意義は大きいと認識しているが、教員にとって過度な負担とならないようにもする必要がある。これらを両立するため、部活動を地域の外部のクラブチームと連携している他自治体の事例も参考にしながら、部活動にかかる取り組みを行う。

「全市一斉総合防災訓練」について



大阪維新の会 箕面 今木 晋一

問 ①今回の1月17日の全市一斉防災訓練は、箕面に大きな被害を与えた地震後初めてのものであり、今までと比較した成果は。②災害時には、一番身近な自治会による地域での助け合いが不可欠と考えるが、自治会に加入するメリットは。③昨年、地震・台風と災害が続き市も大きなダメージを受け、災害訓練を考える良い機会となったが、今後の防災訓練の方向性は。

答 ①各地域で、課題を克服すべく議論を重ね、受け身ではなく、自ら参加する意識を持つ姿が見られた

こと。②人間関係の絆、助け合える関係が構築できると考えている。災害時や防犯などの面でも日常の見守り合い、支え合いなどがメリットとなる。③災害を経験した機運を生かし、地道な訓練の繰り返しや、地域での取り組みを支援し、防災力の向上に努める。



違法薬物大麻所持の低年齢化について



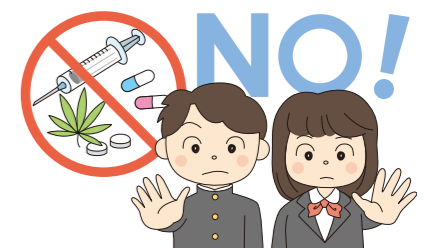
大阪維新の会 箕面 尾上 克雅

問 大麻取締法違反容疑で摘発される少年が今年度大阪府内で急増しており、昨年1～6月には過去最高の51人が摘発された。今年2月には福井県、3月には京都府の中学生が逮捕された。このことを踏まえ、学校現場で薬物に関する教育をどのように行っているのか。薬物乱用防止教室の内容を問う。

答 府教育委員会からの働きかけもあり、本市においては、薬物乱用防止教育を毎年全小・中学校で実施している。薬物乱用防止教室においては、禁止薬物の危険性につい

て具体的な事例を挙げて指導することや、講師に薬剤師や警察官、麻薬取締官などを招聘するなどにより、子どもたちに現実の課題として認識されるような取り組みを行っている。

他に「ランドセル重～い」について



学校における働き方改革と地域連携について



大阪維新の会 箕面 神代 繁近

問 ①文科省の指針に基づき本市でもさまざまな取り組みを実施しているが教員の働き方改革の目的は。②平成28年度より学校組織体制の再構築をはかるため「学校力向上パイロット校」を指定しているが効果の検証は。③これからは、ますます保護者や地域のかたが学校のパートナーとなり、学校・家庭・地域とが一体となって子どもたちを育てていくことが重要になると考えるが、各学校が実施している特色ある地域連携の取り組みの今後の課題は。

答 ①疲労や心理的負担を減らすことで、教員としての専門性を高め、短い勤務での成果の維持・向上をはかること。②南小では、事務支援員配置で年間約3,600時間の時間外勤務を削減。ミドルリーダーの配置でも、一定の事務の効率化があった。来年度は事務支援員配置を3校拡大し、引き続き業務改善手法の確立に取り組み全校拡大をめざす。③管理職の業務が増大しないよう地域連携担当の教員の配置が重要。担当者を配置することで円滑な連携が可能となる。

一般質問

箕面川の氾濫と箕面森町の医療機関、教室の室温について



大阪維新の会箕面
尾崎 夏樹

問 昨年7月の豪雨の際に河川が増水したのを受け、周辺住民から、豪雨時に河川の水位の情報を市民安全メールなどで知らせたいとの要望があったが、対応可能か。

答 危険が生じる可能性がある場合は、市民安全メールなどで水位も含め具体的に周知し、局地的に緊急広報が必要な場合は、広報車での避難の呼びかけを行っている。

問 長年待ち望まれ、昨年9月に箕面森町地区センターに開業した医療機関に関し、本日付けで要望書を提出した。本施設の継続した運営

を求めるが、今後の方針は。

答 当該開業医に、箕面森町だけでなく、止々呂美地域も含めた箕面市北部地域の安全・安心の要となつていただくために、今後も万全のサポートができるよう努める。

問 市内の学校では冬季の教室が寒く生徒たちが困っている状況がある。一定の幅で柔軟な室温設定を可能とすることを求めるが、見解は。

答 冬季の空調設定温度は19℃を基本とするが、学校環境衛生基準で定められた範囲内で、寒さに応じて温度調整するよう学校へ指示している。

第五次箕面市総合計画の総括と次期総合計画の策定



無所属
増田 京子

問 ①現在の総合計画(2011年度～2020年度)は、成果指標によりチェックしている。後2年となり、まだ目標到達に至っていないもの、既に達成したものがあるが、来年度に向けどのように検討しているのか。

②総合計画の策定には、公募市民51人と市職員28人が参加する「箕面市民会議」で議論され提言書も提出した。見直しなどには市民の参画を得ることとなっている。全体の総括に市民参加を求めるが見解は。

③2021年度からの次期総合計画の準備が必要だが市の見解は。

答 ①今のところ成果指標を見直すべき格段の事情は想定していないが、今後、平成30年度の成果指標を集約した上で、見直すべき状況が発生していないかどうか確認する。

②総括の手法は現時点で未定。③平成23年の地方自治法の改正により、総合計画の策定の義務付けが廃止された。本市では現在、北大阪急行線の整備などビッグプロジェクトが進行し、まちの姿が変わりつつあり、それを見極め現総合計画の延長や、策定するか否かの選択肢も含め検討していく。

学校図書館司書の役割などについて



箕面政友会
川上 加津子

問 平成10年に全小・中学校へ専任の学校図書館司書が配置された。いち早く市費で配置し、学校図書館の環境が整えられた。現在の学校図書館司書の職務内容を問う。

答 図書の貸出や選書・発注、レファレンスサービス*1、絵本の読み聞かせ、紙芝居の上演、図書館の環境整備など職務内容は多岐にわたる。

問 平成5年に義務標準法*2が改正された。なぜ今になって、市費負担の学校図書館司書を府費負担の臨時主事(学校図書館担当事務職員)に切り替えることになったのか。

答 平成31年度から開始する学校事務センターに業務を集約することで事務職員の仕事が半減する。当該職員の複数配置校では、1人を学校図書館担当として配置することが可能である。切り替え時期は府との調整に時間を要し今となった。

問 臨時主事が市費負担の学校図書館司書と同等の職務内容であることを位置付けるための方策を問う。

答 フルタイム勤務になるが、事務職の業務は分担させないことを、毎年内示の際に教職員へ指示する。

他に 箕面市の学校給食について

箕面市の「子どもの貧困の根絶」策について



無所属
中西 智子

問 ①「子ども成長見守りシステム」はステップアップ調査のデータを用いて見守り対象の子どもを判定しているが、調査を受けなかった子どもの判定はどのように行っているのか。

②「貧困の連鎖を断つ」ために、18歳以降の見守りは、どこが引き継ぐのか。

③子どもはそれぞれ個別の環境で育ち、多様な課題がある。学習支援は大切だが、自己肯定感や幸せに生きるために必要なことを、自ら考え、自ら行動する力、いわゆる「生きる力」をどのように育むのか。

答 ①各部局が把握している家庭の経済情報や児童虐待などの養育状況を用いて行う。②継続して支援が必要な場合には、生活困窮者自立支援の窓口など、その時点で必要な支援の担当部署に引き継ぐ。③「子ども成長見守りシステム」では、学力だけでなく、非認知能力と言われる意欲・自制心・自立性などの状況や変化により支援の必要性を判定し、個々に応じた支援へのつなぎや見守りなどを実施しており、これらの支援により、「生きる力」が生まれるものと考えている。

教育委員会の議員への情報源聞き出しについて



日本共産党
神田 隆生

問 「生徒の頑張り」が全く反映されないのはつらい」と発言した教師は、チャレンジテストの仕組みからくる問題点の感想を言ったものだ。評価は、評価の手引きに沿ってしかつけられないのだから、頑張りやを反映しない評価をつけることはできない。村川議員は誤ったルールに基づいて評価をつけている教師がいる可能性を示唆などしていない。議員に情報源の聞き出しを行う必要性など全くなかったと断じざるを得ない。そのような教師がいると考えているのか。

答 市教育委員会では、誤ったルールに基づき評価を行うような教員はいないと考えている。ただ、前定例会においては、質問の中で、「日頃の頑張り」が全く反映できない」という教員の発言があったと述べられたことから、そのような教員が本当にいるのなら確認する必要があると答弁した。教員が統一ルールについて誤った理解をしていれば、当然誤った評価をしてしまう可能性があるため、当該教員のルールの理解について、確認する必要があると考えている。

コミュニティ政策の総括と推進について



箕面政友会
内海 辰郷

問 ①倉田市政10年を評価するものだが、22年前全国でも珍しいと言われた故橋本市長肝入りの「まちづくり理念条例」はどのように意識され、具体的な政策の中に内実化されてきたのか。

②市民活動をしているあらゆる団体に結集していただき、健康長寿などをテーマに百人委員会のようなものを設置すべきでは。

③この4月から始まる「ささえあいステーション」の成否は携わる職員が地域を熟知し、各種団体と連携することに尽きると思うが市の見解は。

答 ①条例の理念のもと、あらゆる政策の基盤に市民の視点と多様性の観点を念頭に置き、まちづくりを進めてきた。②百人委員会の設置まで一足飛びにはいかないが、市民団体のネットワーク化などの取り組みを検証しつつ、市民との連携、協働を進める。③この取り組みが地域共生社会実現の最初で最後の挑戦と捉え、ステーションの職員と市職員がともに手を取り、地域に飛び出し、入り込み、地域住民を巻き込みながら、大きな潮流をつくっていきたい。

議員まちある記

vol.14

今回の取材担当：村川 真実、堀江 優



議会だより編集委員を務める議員が、市内の注目スポットなどを取材し、箕面の魅力をお届けします。

帝釈寺の伝統行事「福護摩祭り」に行ってきました！



粟生外院二丁目にある帝釈寺で50年も続く伝統行事、福護摩祭りに行ってきました。参拝者で境内はいっぱい！今年は土曜日と重なったこともあり、多めに用意されたぜんざいも正午にはなくなるなど、大盛況でした。

護摩木奉納は2,000本を超え、心願成就や家内安全を願って、焼けた護摩木の上を素足で歩く恒例の「火渡り修業」には、子どもからお年寄りまで400人弱が挑戦！参拝者は「とても熱かったけど、子どもと毎年参加しています。」と、笑顔で成満証を見せてくれました。(来年は、挑戦してみたいです。)帝釈寺は、瞑想会や修行体験カフェなどの年中行事を通して、地域に根ざしたお寺として親しまれています。ぜひ参加してみてください。



vol.115

第116号
7月15日

表紙写真を募集！

詳しくは…

みのお市議会だより

検索



募集要項



掲載者に
謝礼品進呈！

応募条件 市内在住、在職、在学のかた

テーマ 季節感のある市内の風景写真

応募方法 写真(データまたはプリント)とともに、住所(市外在住は通勤・通学先名も併記)、氏名、電話番号、撮影場所・時期、議会だより「ささゆり」8月号表紙への応募である旨を明記(様式自由) 1人5点まで

応募先 7月15日(月・祝)(必着)までに議会事務局へ郵送、電子メール。または12日(金)午後5時15分までに持参 〒562-0003 箕面市西小路4-6-1
✉ minohsigikai@office.eonet.ne.jp
TEL(072) 724-6705

《注意事項》

- ①人物が写り込んでいる場合は、個人が特定されないものに限りです
- ②議会だより編集委員会で採用作品を決定します
- ③応募作品は返却しません
- ④応募者自身に著作権がある作品に限りです。著作権・肖像権などあらゆる権利に関する問題は、応募者の責任と負担で解決するものとします

みのお市議会だより
令和元年(2019年)5月20日発行

次回定例会のお知らせ

6/3～6/25 開催予定

6 June 2019							10時開会
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	
						1	
2	3 本会議①	4	5 常任委員会	6	7	8	
9	10 常任委員会	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22	
23	24 本会議②	25 本会議③	26	27	28	29	
30							

①議案説明ほか ②討論・採決、一般質問 ③一般質問
(進行状況により変更となる場合があります)

動画でCheck!
議会の模様を動画で視聴できます。動画の内容は公式記録ではありません。
ライブ中継・録画配信
箕面市議会 検索

タッキー-816でCheck!
一般質問や代表質問などの録音を、ラジオ(FM81.6MHz)・スマホ・パソコンで聴取できます。
タッキー-816 検索

点字と声の議会だより
点字と声(テープ版、CD版、デージー版)による議会だよりも発行しています。視覚障害のあるかたで希望されるかたは、議会事務局へご連絡ください。

箕面市統一キャンペーン
おいしい特典がいっぱい! 日曜・祝日はオレンジゆずバスでお出かけしよう!

次号は、令和元年8月15日発行予定です

編集/みのお市議会だより編集委員会 発行/箕面市議会
〒562-0003 大阪府箕面市西小路4-6-1
TEL(072) 724-6705 / FAX(072) 724-1568